

淡江大學九十三年學年度進修學士班轉學生招生考試試題 38-1

系別：日本語文學系三年級

科目：日 語 翻 譯

准帶項目請打「○」否則打「×」	
X	簡單型計算機

節次：7月14日第4節

本試題共 2 頁

本試題雙面印卷

一、下列成語均有日文格言，請翻譯出來。每題4分，共20分。

(注意：日文均需注音，寫錯或沒寫者一字扣1分)

- 1、如虎添翼
- 2、隔岸觀火
- 3、鷓鴣相爭
- 4、背水一戰
- 5、夫唱婦隨

二、閱讀此文後回答下列問題。每題5分，共30分

ちかごろは、まったく酒を飲まなくなった。いや、飲めなくなった。

秋が来て、木の葉が黄色になり、落ち葉するように、自然に、いつの間にか、飲めなくなってしまったのである。

以前は人からも強酒⁽¹⁾といわれ、自分もそう信じていた。七十歳ちかくなりながら、去年の夏まではまだ毎晩ウイスキーを飲み、四日で一本あける⁽²⁾のが普通だった。それが不思議なことに、いつとはなく飲めなくなってしまったのである。

ある作家が青年のころ、夜通し友人と飲みあるき、いつも家に帰るのはあけ五⁽³⁾になる。すると、戸を開けてくれる母親が、こういったそうだ。——人間にはそれぞれ「分」というものがある。おまえが一生かかって飲む酒は、ちゃんと神様がその「分」を取っておいてくださる。だから、何もあわてて、無理をして飲むことはない⁽⁴⁾ではないか。ゆっくり、四十年、五十年かけて飲めばよいのだ、と。

私はだれかの隨筆で、そんな文章を読んだ記憶がある。この母親の説に従えば、私は私の「分」をすっかり飲み尽くしたのかもしれない。神様が取っておいてくれた私の酒樽は、もう一滴も残さないのだ。

酒はやめてしまったが、いわゆる禁酒の苦しみやつらさは、ちっとも感じない。むしろ飲むだけは飲んだ⁽⁵⁾という、さっぱりした、満ち足りた気持ちである。すべてが自然の移り変わりのような気がして仕方がない。

春夏秋冬の移り変わりに似ているといえ——これが「おい⁽⁶⁾」というものであろうか。

◀ 注意背面尚有試題 ▶

淡江大學九十三年學年度進修學士班轉學生招生考試試題 31-2

系別：日本語文學系三年級

科目：日 語 翻 譯

准帶項目請打「○」否則打「×」	
×	簡單型計算機

節次： 7 月 14 日 第 4 節
本試題共 2 頁

- 1、請寫出底線(1)的中文意思。
- 2、請寫出底線(2)的中文意思。
- 3、請寫出底線(3)的中文意思。
- 4、請寫出底線(4)的中文意思。
- 5、請寫出底線(5)的中文意思。
- 6、請寫出底線(6)的中文意思。

三、請將此文翻譯成中文。50分

多くの人たちが考えるように、心配りはとるに足りないどうでもいいものではない。心配りは人間関係を円滑に和やかにするばかりでなく、仕事を成功に導くうえでも大いに役立っているからだ。

礼儀正しいかどうかによって、その人に対する世間の評価も大きく変わってくるものである。

他人を統率していく時には、才能よりも、礼儀正しさのほうがはるかに強烈な影響力を与えることもしばしばである。上品なだけではなく心のこもった礼儀正しさは、社会的な成功をおさめるためには、何よりも頼りになる助手であり、それがなければかりに失敗した人も大勢いる。

つまり、人に与える第一印象は大切なもので、態度が折目正しく、言葉づかいが丁寧かどうかによって、印象がよくもなれば悪くもなるということだ。

不作法でがさつな態度は、人の心の扉にかんぬきをかけ心を閉ざさせてしまうが、親切で穏やかな態度、即ち礼儀をわきまえた態度は、その扉を開く魔力をもっている。それは、老いも若きもすべての人の中に溶け込んでいけるパスポートの役目を果たすのである。

「礼儀は人をつくる」とよく言われるが、「人が礼儀をつくる」という言葉のほうが正しい。表面は荒削りで不作法でも、心は美しく堅実な性格の人もあるだろう。しかしそれに、本当のジェントルマンなら欠くことのできない人当たりのよさと礼儀正しさが加われれば、間違いなくもっと人に好かれ、社会のためにも役立つ人間になれるだろう。

このように、人の立ち居振舞いは、ある程度その人の人格を表すものだ。心の奥に潜む本質を外の世界に説明してみせるものであり、その人がこれまで過ごしてきた社会的環境をはじめ、趣味や感情、そして気性などがそれによってわかるのである。